

よい活動、よい集い、そして目を広く



千葉市少年自然の家「春のわいわいフェスティバル」(左)衣類のバザー (右)子どもたちへのゲームコーナー(4月20日)



4月26日に行われた全国学Yリユニオンで (左)グループ協議 (右)記念写真に並ぶところ(この後ドローンで撮影した)

千葉 YMCA ニュースボード

2025 年 5 月 1 日 第 306 号

<https://www.chibaymca.net/>

新年度順調にスタート

千葉 YMCA の新年度は、継続している公益事業、千葉市少年自然の家のプログラム運営、千葉市千城台地区の三つの学校におけるアフタースクール、それぞれ順調にスタートしています。今年度も変わらぬご協力をお願い申し上げます。

6月14日(土)午後16時に**定期総会**を開催します。その後半、2時半頃から、

会員の集いとして、講演と懇談のときを持ちます。講師は一瀬英史氏(Eustress(ユーストレス)株式会社代表)、講演内容は、《大人が自身のストレスに気付き、それを良いストレスに変える方法、子どもへのストレスの影響やよりよい関わり方など、自身の心の健康と子どもへの寄り添いを中心にお話いただきます。》とのことです。

この集いには、協力会員のほか、会員の家族、リーダーなど YMCA に関わる皆さんに参加をご案内します。

◆少年自然の家「春わい」開催

4月20日に千葉市少年自然の家で開催された春のわいわいフェスティバルは、新たにキッチンカーが加わり、またオンラインでアフリカとつないだイベントが行われるなど、にぎやかに開催されました。

ボランティアリーダーによるゲームコーナーや古着のバザーも好評でしたが、特に今年度新たに加わったリーダーと現役、OGOB リーダーの交流の機会としても、有意義なものになりました。

売上の 26,490 円をユース育成のためのファンドとしました。

◆夏キャンプの準備進む

千葉センターは、5月から活動を開始するために、リーダーの募集、トレーニングを行っています。

5月3～5日は、北関東の YMCA が協力して行う「プレキャンプ」を赤城キャンプ場(ぐんま Y)で行います。OGOBを含めて7名のリーダーが参加します。

◆世界各地への支援呼びかけ

日本 YMCA 同盟から、ウクライナか

ら日本へ避難してきている人々の生活支援、パレスチナの人々への緊急支援募金、ミャンマー地震への救援募金呼びかけられています。

能登半島被災地への支援も継続しています(各案内を参照ください)。

◆全国学Yのリユニオン開かれる

全国学生 YMCA の OBOG と現役学生の集いが6年ぶりに開かれました。(4月26日東京 YWCA で)

編集子も参加しました(上の写真)。

◆新年度への会員継続をよろしく

千葉 YMCA の協力会員は、年度初めに年会費を納入して会員資格を継続します。会員の皆様は早めに今年度会費を納入をお願いします。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○千葉市少年自然の家

chiba-shizen.jp 0475-35-1131

○千葉市立千城台みらい小学校アフタースクール 043-236-1701

○千葉市立千城台東小学校アフタースクール 043-237-7376

ニュースボード編集: 青木一芳(理事)

メール kkaoki@myad.jp